

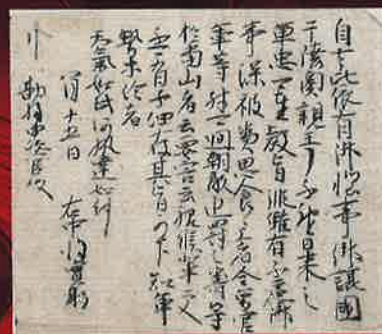
征西将軍府と五条氏 について



重要文化財 金烏の御旗(八幡大菩薩旗)
五條家所蔵 九州歴史資料館写真提供



重要文化財 五条家文書
五條家所蔵 九州歴史資料館写真提供



重要文化財 後醍醐天皇綸旨(五条家文書第1巻)
五條家所蔵 九州歴史資料館写真提供



講師
三浦 龍昭氏
(大正大学 文学部 歴史学科 准教授)

1975年鹿児島県に生まれる。
1998年大正大学文学部史学科卒業。2003年大正大学大学院文学研究科史学専攻博士後期課程修了。博士(文学)。現在、大正大学文学部歴史学科 准教授。
専門は、日本の中世政治史。とくに南北朝時代の九州の政治史。著書・論文に、『征西将軍府の研究』(青史出版、2009年)、『「征西将軍府」は、独立王国をめざしていたのか?』(共著『南朝研究の最前線』、洋泉社、2016年)、『外記家清原氏と五条頼元』(『日本歴史』645号、2002年)など。

南北朝動乱の時代、後醍醐天皇の命を受けた懐良親王はわずか8歳前後で征西将軍となり、側近であった五条頼元らとともに下向します。薩摩国に到着後、北朝・室町幕府勢力との攻防を繰り返し、約20年の歳月をかけ九州を制覇し、大宰府に南朝の征西将軍府を開きました。

懐良親王の後、親王の甥にあたる幼少の良成親王が西下し、後征西将軍府となって九州南朝勢力の中心となりました。しかし、九州探題今川了俊に追われて退却をかさね、矢部(現・八女市矢部村)で死去したと伝えられています。

講演会では、懐良親王の征西将軍府と五条氏に焦点を当て、九州南朝の実体を明らかにします。

日時 令和2年1月26日[日] (開場13:00) 13:30~15:00 入場無料[申込不要]

会場 八女市民会館 おりなす八女
はちひめホール(小ホール)

福岡県八女市本町602-1 ☎0943-22-5332

お問合せ

〒834-8585福岡県八女市本町647
八女市教育委員会 教育部 文化振興課 文化係
☎0943-23-1982

主催/八女市・八女市教育委員会